

学士課程教育の再構築について

中央教育審議会大学分科会制度・教育部会
学士課程教育の在り方に関する小委員会
審議経過報告の骨子

<基本的な考え方>

「知識基盤社会」における大学教育の量的拡大（ユニバーサル段階）を積極的に受け止めつつ、社会からの信頼に応え、国際通用性を備えた学士課程教育の構築を目指す。
大学の自主性・自律性を尊重した多角的支援の飛躍的充実が必要
「競争」、「多様性」の追求 + 大学間「協同」、教育の質の「標準性」

<具体的な方策（主に国による支援・取組）の例>

- 我が国の学位の水準の維持・向上に向けた枠組みづくり
 - 我が国の学士号が保証する能力の明確化（各専攻分野を通じて培う「学士力（仮称）」の参考指針を提示）

学士課程の「学習成果」として、例えば、多文化理解、コミュニケーション・スキル、論理的思考力、問題解決力、市民の社会的責任等を提示
--
 - 分野別の質保証の枠組みづくり（「学習成果」や到達目標の設定、コア・カリキュラム、教材の研究開発など）
- 教育内容・方法等の優れた実践を行う大学に対する重点的支援
 - 目標とする「学習成果」を明確に掲げ、その達成を目指した教育課程の体系化・構造化
 - 単位制度の実質化の観点に立った教育方法の点検・見直し
 - 学習意欲を高める双方向型の教育方法、体験活動の充実
 - 出口管理の強化、多面的な成績評価（GPA、学習ポートフォリオ、外部評価等）
- 高等学校との接続の改善
 - 「大学全入」時代を迎える中での選抜方法の多様化（AO・推薦入試等）の検証
 - 大学における入学者受入れ方針の具体化・明確化に向けた取組の支援
 - 高等学校段階の基礎的な学習成果を評価し、客観性の高い選抜資料として広く活用する仕組みの検討
 - 大学における初年次教育等の充実に向けた支援
- 教職員の職能開発の推進
 - 全大学でのFDの確実な実施と実質化に向けた体制整備（専門的人材の配置等）の支援
 - FDプログラムや教材等の開発の支援
 - 大学における優れたFD・SD活動への支援、大学間ネットワーク化の促進
 - 教員の教育業績評価や大学院での大学教員の養成、他大学でのインターンの推進
- 質保証システムの整備・確立
 - 教員組織、施設・設備等の在り方の見直しの検討（大学設置基準等の見直し）
 - 第三者評価制度の確立と分野別評価導入に向けた環境整備
 - 大学別の情報データベースの構築
- その他
 - 経済的に恵まれない優秀な学生に対する支援
 - 大学に対する寄附の税制上の優遇
 - 企業の採用活動早期化の是正への期待